

新潟市国家戦略特別区域会議（第3回）終了後記者会見

日 時：平成27年6月9日（火）16：35～16：40

場 所：中央合同庁舎8号館 S106会見室

（平副大臣冒頭発言）

第3回の新潟市国家戦略特別区域会議が先ほど終わりました。

本日の区域会議では、「認定申請を行う区域計画（案）」を議題として議論いたしました。

今回は、農業生産法人に係る特例を活用する実施主体について、先に認定した2団体に加え、5団体を追加すること。雇用条件の明確化を通じ農業ベンチャーを含めた起業等を支援する「雇用労働相談センター」を設置することについて議論いたしました。

これらについて、特段の異議がなかったことから、区域会議として決定し、速やかに認定申請を行うことといたしました。新潟発の革新的農業が更に具体的に進展し、全国のモデルになることを期待しているところでございます。

私からは以上です。

（質疑応答）

（問）読売新聞の有泉です。今回新たに決定した5つの事業者について、それぞれご説明いただきたいと思っております。

（平副大臣）株式会社新潟クボタについては、ご存知のとおりクボタのグループ企業ですが、現在コメの輸出に取り組んでおります。シンガポール、香港、モンゴルなどへのコメの輸出に取り組み、実績をあげているところです。今回は、市内の耕作放棄地で小麦の生産に取り組むということで、地元も農業委員会も歓迎と聞いています。

株式会社WPPCについては、新潟の里山で間伐材などを利用して木質ペレットなどを製造・販売する企業であります。今回は盆栽に使う苔玉の加工品について海外輸出に取り組まれると聞いています。

株式会社セブンファーム新潟は、セブンアンドアイホールディングスのグループ会社ということで、イトーヨーカ堂の店舗から出る食品残渣を堆肥化して、それを使って野菜を栽培し、イトーヨーカ堂もしくはIYグループへ販売するという取組をされると聞いております。

株式会社ars-diningは、もともとは農業者であります。居酒屋もやっているということで、枝豆など園芸作物を作って、農家レストランで使用すると聞いております。

株式会社アイエスエフネットライフ新潟であります。もともとはインターネットの企業と聞いておりますが、障がい者の方の就労に実績があるということで、今回は農業者と連携して障がい者の方々にも農作業を行っていただくという形で農業を展開していく。作るものは露地野菜などと聞いております。

（以上）